

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）事後評価書

平成29年1月11日

計画の名称	1 県土全体となった河川事業及び海岸事業による浸水対策の推進（防災・安全）緊急対策																
計画の期間	平成25年度～平成26年度（2年間）					交付対象	佐賀県										
計画の目標	集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う浸水被害リスクの増大に対し、甚大な被害が想定される地域で実施する河川整備を集中的に実施し、安全で安心な県民生活の確保を図る。																
計画の成果目標（定量的指標）	<p>・堤防の緊急点検を踏まえ、浸水被害が想定される地域において、被害戸数を50戸減少。</p>																
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値						
											当初現況値	中間目標値	最終目標値	備考			
											(H25当初)		(H26末)				
	① 事業実施により減少する浸水想定戸数。										50戸	-	0戸				
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,070百万円	A	1,070百万円	B	百万円	C	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.0%						
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A1 河川事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
A1-1	河川	一般	佐賀県	直接	-	広域河川1	-	松浦川広域河川改修事業	築堤・掘削・樋管(L=4.3km)	武雄市						430	
A1-2	河川	一般	佐賀県	直接	-	広域河川2	-	玉島川広域河川改修事業(横田川)	築堤・掘削・護岸・橋梁(L=0.35km)	唐津市						640	
											小計（河川事業）					1,070	
A2 その他総合的な治水事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
											小計（その他総合的な治水事業）					0	
A3 海岸事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別①	種別②	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
											小計（海岸事業）					0	
											合計					1,070	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考	
											H22	H23	H24	H25	H26		
											合計					0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考	
											H22	H23	H24	H25	H26		
											合計					0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

その他関連する事業										事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
事業種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	H22	H23	H24	H25	H26		
A'																
B'																
C'																

A'	百万円	B'	百万円	C'	百万円	$(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))$	0.0%
----	-----	----	-----	----	-----	---------------------------------------	------

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況							
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・河川整備により浸水被害のおそれのある区域が減少し、安全・安心の確保ができた。					
II 定量的指標の達成状況	指標①（事業実施により減少する浸水想定戸数）	最終目標値	50 戸	目標値と実績値に差が出た要因	関係機関との協議に時間を要し、整備が遅れたため		
		最終実績値	39 戸				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）							
3. 特記事項（今後の方針等）							
・達成できなかった区間の整備を早急に進め、浸水被害のおそれのある区域を減らし、安全・安心の確保に努める。							